

# 多久 議会だより



令和4年  
3月定例会

第52号



審査報告	.....	P2~3
議案質疑	.....	P4~7
一般質問	.....	P8~11
まちで発見!	.....	P12

# 令和4年3月定例会

令和4年3月市議会定例会は3月1日から3月18日まで（会期18日間）開かれ、7人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

市長から提出されました40件（条例8件、予算25件、その他7件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

議会からは「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」1件を提出しました。

## 総務文教委員会 閉会中審査報告

閉会中継続審査事件として取り組んでいる「空き家対策」については、第2次多久市空家等対策(案)について、担当課から説明を受け、その後、意見交換を行いました。

相談窓口に関しては一本化が図られているが、関係部署及び関係機関との連携に努めること、また管理不全な空き家を増やさない対策にも取り組んでもらいたいという意見ができました。



今後は、この新たな計画が着実に実行される必要があり、委員会としても注視していくことになりました。

当委員会では「空家等対策」と「公共施設の維持管理対策」について、今後も引き続き審査を進めていきます。



第2次多久市空家等対策計画



## 産業厚生委員会 閉会中審査報告

閉会中継続審査事件として「持続可能な営農への取り組み」、「市内事業者の更なる活性化」の2項目について取り組んでいます。

「持続可能な営農への取り組み」については、農業団体との意見交換会で要望があった令和3年播種の

大麦の種子代補助について、担当課に要望を行い、11月議会で予算成立につなげることができました。

また、今後、「多久市農業振興計画2021」について担当課と協議することとなりました。



多久市農業振興計画2021



「市内事業者の更なる活性化」については、多久市商工会を訪問し、商業、工業、建設の3部会長との意見交換、要望の聞き取りを行いました。いただいた要望等については持ち帰り、各担当課と協議して要望への対処等についての回答書を、委員が商工会を訪問し、回答文書を商工会会長にお渡しするとともに、商業、工業、建設の3部会長に回答内容について説明を行いました。

今後も商工会との意見交換をすることも決定しました。

今後も2つの課題について、市の担当課や関係団体との協議を重ね、検討を進めていきます。



商工会館

## 予算特別委員会 審査報告

### 令和4年度 多久市一般会計

審査の過程で、次のような意見がありました。

#### 一般会計歳入

● 分担金及び負担金では、保育所入所保護者負担金は市税の滞納整理と併せて徴収できないか。

● 使用料及び手数料の保健体育使用料は、適正な受益者負担の原則に基づく使用料等の見直しについて検討すること。



多久市野球場

#### 一般会計歳出

##### 民生費

● 温泉保養宿泊施設タクア内の交流スペース「彩り」について、利用者を増やすために魅力ある運営促進を図り、高齢者が利用しやすいよう検討すべき。

##### 土木費

● 交通安全施設整備事業は、市民の安全確保のため、必要に応じ十分な措置を講じること。



交流スペース「彩り」

##### 教育費

● 教育支援センター「怒るーむ」は、十分な環境整備を図り、指導に取り組むこと。



教育支援センター「怒るーむ」

本議案については、慎重に審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。



道路外側線の状況

# 議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

田淵 厚

## ■介護予防・日常生活支援総合事業

### ◎ 日常生活支援事業の内容は

◎ 65歳以上の要支援認定者や生活状況などチェックリストで該当された方が対象で、訪問型サービスBの生活支援と訪問型サービスDの移動支援があり、Bは住民主体によるゴミ出しや買い物代行といった生活援助になり、Dは買い物や通院前後の生活支援、付き添い等になります。



### ◎ 利用する連絡先と料金はどうなっているのか

◎ 利用申請は多久市地域包括支援課、社会福祉協議会のいずれも申請は可能で、利用料金は30分あたり250円と設定されています。

## ■農業用施設整備事業

### ◎ 緊急浚渫推進事業の詳細は

◎ この事業は昨今の河川氾濫等危険箇所を解消できるよう令和2年度に緊急浚渫推進事業債が創設され、ため池、土地改良施設クリーク、農業用ダムが令和3年度に追加されました。



土地改良施設クリーク

◎ この事業は令和6年度までの事業で、毎年1,000万円の事業計画で地元負担が15%の150万円になると金額が大きくなり地元は厳しい。

また、大雨の被害は農業だけでなく地域被害も大きいので、周知を区長へ行ってほしい

◎ 土地改良事業は受益者負担原則と、管理責任の観点から、一部負担をお願いしています。

区長へ事業が効率的かつ、円滑に進められるよう周知を行います。

## ■体育施設運営の改修

### ◎ 体育センター、庭球場の照明改修事業の詳細は

◎ 体育センターの照明は42基を水銀灯からLEDに更新、庭球場の照明は点灯しない不具合もあり、今回は安定器を含めたアーム部分と照明設備を光熱費が安価ですむようLEDに更新します。



◎ 水銀灯は製造が中止になっているが、まだ水銀灯を使っている施設はどれ位あるのか。

LEDにしたら電気料の削減はどれ位になるのか

◎ 水銀灯を使っている施設は6体育館と4施設が使用しています。

また、電気料は体育センターで約60%、金額で年間約60万円の光熱費削減を見込んでいます。



# 議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

樺島 永二郎

## ■過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業

### ◎ 事業概要と予算の内訳は

◎ 集落ネットワーク圏(多久市全域)において、「なりわい」を創出する活動の立ち上げや生活支援等の地域課題の解決に資する取り組みを支援するものです。

取り組みとして、専門人材を活用したドローンを使った事業として展開できる仕組みづくりを行う「ドローン配送実証事業」1,262万円、ドローンを活用した動画作成を行い、多久市の情報の発信し、関係人口の増を目指す「魅力発信交流事業」165万円、各地で協議会等を開催し、地域の課題について検証、解決に導く実用化モデルを検討する「地域ネットワーク構築事業」110万円、協議会で出された課題をICT活用により解決する糸口となるイベントや各地域でのドローン配送実証事業の環境づくり等の取り組みを行う「なりわい創出事業」960万円です。



## ■避難行動要支援者システム

### ◎ 現在の状況とシステム導入後の状況は

◎ 避難行動要支援者台帳は、毎年、手作業で更新しています。

導入後は、対象者の重複チェックや住民異動情報、要支援者の判定や集計作業をシステムチェックや判定処理で迅速・正確に処理可能になります。また、地図と連携することにより避難者の状況を地図上で確認できます。



◎ 避難行動要支援者の避難支援はどう変わるか、運用開始時期は

◎ ハザードマップや住宅地図データと要支援者台帳データを組合せることにより、地図上で要支援者を把握することが可能となり、より迅速な支援につながります。

運用開始は令和4年10月予定です。



## ■大規模盛土造成地変動予測調査

### ◎ どのような目的をもって行うのか

◎ これまでの災害で、盛土造成地において滑動崩落が発生したことをうけ、今後災害を未然に防止し軽減することを目的に行います。

◎ 調査結果を受け、崩落のおそれがある場所については、ハザードマップや多久市HPの災害マップ等に掲載して市民の方へ周知を行うのか

◎ 国では公表する義務はないとなっています。

これは土地所有者への配慮でないかと考えていますので、現時点では多久市としては公表を行わないと考えています。

ただ、土地所有者に対しては、調査終了後に結果説明を行います。



佐賀県大規模盛土造成地マップ

# 議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

平間 智治

## ■移住支援事業と定住政策推進

### ◎ 移住支援事業補助金とさが暮らしスタート支援補助金の事業内容は

▲ 移住支援事業補助金は、令和元年度より地方創生推進交付金を活用し行っている国の事業です。

東京圏から多久市に移住して就業、起業した方を対象に世帯や18歳未満の子どもに支援金を交付するものです。

さが暮らしスタート支援補助金は、佐賀県独自の事業で、令和4年度開始される新規事業です。

内容は、一定要件の下、佐賀県外から多久市に移住し、就業、または起業した方を対象に、国の事業と同様に支援を行うものですが、18歳未満の子どもに対する加算措置はありません。



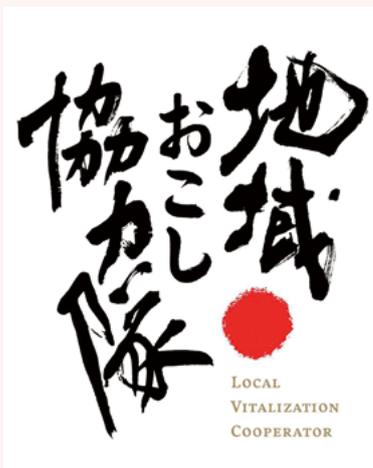
内閣府地方創生移住支援

## ■地域おこし人材活用事業

### ◎ 事業内容と経費の詳細は

▲ 地域おこし協力隊は、都市部から地域に居住し、地域ブランドや地場製品の開発、また販売、PRなどの支援などを行いながら、その地域へ定住、定着を図る取り組みです。

集落支援員は、集落対策の推進に関するノウハウ、知見を有した人材を集落支援員として多久市が任用を行い、集落の状況把握、または集落の点検実施や住民と住民、または住民と自治体間の連携を推進する取り組みです。



任期の期間は、概ね1年以上、3年未満です。

本予算の主な内容は、人件費と消耗品費や燃料費などの活動費で、地域おこし協力隊は905万円、集落支援員は350万円です。

事業費は、総務省から特別交付税による財源措置がされています。

## ■防災行政通信ネットワーク整備事業

### ◎ 整備の具体的な内容と今後の活用事例は

▲ 機器の更新、通信回線の迂回ルートを確認するための中継局の増設、非常用電源設備(72時間以上供給)の設置、回線容量の増大及び佐賀県防災ヘリコプターからの映像を受信するためのアンテナ等の整備です。



消防防災ヘリコプター「かちどき」

活用事例は、リアルタイムの映像での意見交換や、ヘリコプターを飛ばしたときの映像を多久の災害対策本部で見ることができます。



### ◎ 負担金の積算方法は

▲ 佐賀県が行う再整備は、総事業費51億4,930万円で、この内、市町及び消防本部に係る事業費は4億5,443万円です。

4億5,443万円について、緊急防災・減災事業債を活用、30%が令和4年度の負担金で、県が1/2、残りの1/2を20市町で、均等割で金額が340万円です。

# 議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

鷺崎 義彦

## ■北多久公民館地質測量調査費

Q 北多久公民館建設事業に要する経費減額1,000万円とあるが、当初予算における地質調査委託料の内容と、調査が不要となった理由は

A 北多久公民館建設事業の候補地は、市の遊休地市内6か所を地元建設検討委員会に諮り、多久北部運動広場に決定しました。

当初予算計上時には、地質改良や造成等の必要がある候補地に決定した場合を想定して予算計上していましたが、建設地に決定した多久北部運動広場は、地質測量調査の必要がなく、減額の予算を計上したものです。

Q 北部小学校跡地での北多久公民館建設が決定したのは、昨年6月と承知しているが、地質測量調査が不必要と分かった時点で、減額補正を行えば、一般財源でもあり、財源を他の事業に充てることも可能だったのでは

A 地質測量調査費は一般財源でもありましたが、不用がわかった早い時期に補正予算に計上すべきでした。

Q 予算の適切な管理、時宜を得た予算管理が十分ではないのでは

A 今回の減額予算も含め、実施する事業の進捗状況や事業内容等精査しながら、予算の適正な管理に努めます。



北多久公民館建設地



中島 慶子

## ■アピアランスケア支援補助事業

Q 事業の目的、対象範囲、要件、補助対象品目は

A がん治療により生じる脱毛や切除した体の一部を補正具で補うことが目的で、県が新設する同事業に併せて、市でも2万円を上限に補正具購入費用の2分の1を助成するものです。

対象範囲、要件は、がんを治療中の方、がん治療を受けられた方、がんの疑いがあると診断された方とし、がん治療により脱毛した方、乳房を切除した方で医療用ウィッグや乳房の補正具を購入された方です。

また、対象品目は医療用ウィッグ、乳房の補正具は補正用下着、補正用パッド、人工乳房等が対象となる予定です。



医療用ウィッグ

Q がん検診から見える多久市の現状は

A がん検診については、各町の公民館での集団検診と、医療機関や健診・検査センターで行う個別検診を併用しながら、毎年、延べ7,000人の方にがん検診を受診していただいております。

がん検診の種類によって異なりますが、毎年、約300名程度の方が精密検査が必要となっています。

精密検査等を受診された方で、令和2年度で最終的にがんを発見できた方は16名となっています。

Q 相談窓口は

A 病院に相談されることが多いと思いますが、多久市では、中央公民館で毎月開催の『がんサロンハート』で相談に応じています。

また、市の健康増進課を窓口となり相談を受ける予定です。



# 市政を問う

3月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。



田淵 厚

## 農地問題について

**田淵** 平成31年3月の農地貸し付け等の意向調査、進捗状況と農地面積、耕作者数、その中で75歳以上の方の人数、その耕作面積、また、後継者数は。

**答弁** 農地を貸したい筆数104筆、面積は11万664㎡、令和3年度の新規賃貸借契約数は107件、面積41万6,439㎡であり、農地の集積は年々僅か進んでいます。

農業者数は609人、その中で75歳以上は212人で34%となっています。

**田淵** 農業委員と農地利用最適化推進委員では優良農地を守るため農地パトロールを実施されているが、その後の対応は。

**答弁** 令和3年度の結果として再生可能な農地と再生が困難な農地があり、合わせて遊休農地283ha、昨年度より26.1haの増加です。

遊休地と判定された所有者全てに調査をしており、「農地バンクへ預ける」、又は「所有者移転」、「賃貸借契約を行う」か、自ら耕作するか選択し農業委員に報告することになっており、農業委員会は県に報告しています。



農地パトロール後の会議

**田淵** 市外所有者農地については、年々耕作面積が増えてきて、地元管理で難しいことがある。そうした状況での対応はどう思うか。

**答弁** 農業用施設の維持管理は基本的には受益者及び関係者で行っていただきたいと思っています。



中島 國孝

## 豪雨時の対策

**中島** 毎回土砂が豪雨時に堆積する箇所があるが把握はされているか。

**答弁** 豪雨災害で、繰り返し土砂が堆積している箇所としては、市道では山崎山線、向鶴線、中原西岳線、笹原井上線。

また、市河川では空巣川などとなっており、豪雨災害後には堆積土砂の除去を実施しています。

**中島** 土砂堆積についての原因は。

**答弁** 隣接する山間部の土砂が緩み、道路や水路等に流れ出たと考えられます。

**中島** 対策として土砂防ダムはどうか。

**答弁** 土砂災害警戒区域、または土砂災害特別警戒区域の指定外区域での砂防事業を行うことは困難であり、適切に応急対策を行って行きたいと考えています。

**中島** 市として田んぼダム政策についての考えは。

**答弁** 令和元年、3年に豪雨時の災害を体験しており、田んぼダムを含めた様々な対策に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

**中島** 積極的に田んぼダム事業を取り組むに当たり、農家への周知方法は。

**答弁** 説明会の開催やチラシの配布、個別説明等により周知を図り、令和4年度に活動組織へ取組の意向調査と確認、組織内での合意形成をしていただき、令和5年度から事業の取組を本格化して行きたいと考えています。



國信 好永

## 新公立病院建設について

**國信** 用地取得、交渉、地元協議、契約、買収の状況は。

**答弁** 用地取得の手続は、今年2月に全地権者との仮契約を完了しました。

農地転用の許可後に、所有権登記、土地代金の支払等の手続を完了したいと考えています。

**國信** 建築物の設計の状況は。

**答弁** 小城・多久合同の選定委員会を設置し、プロポーザル方式で安井・平野建設設計共同体を優先交渉権者として選定しました。基本設計は令和3、4年度の2か年の事業です。建築の実設計は令和4年度を予定しています。

**國信** 建築物の着工時期、造成の実設計完了は。

**答弁** 建物の着工は、おおむね令和5年7月ごろと考えています。また造成は今年度中の設計完了を目指しています。

成は今年度中の設計完了を目指しています。

**國信** 病院に係る全体の工事金額は。

**答弁** 基本計画策定時点で77億円と想定しています。

**國信** 工事資金の調達及び返済計画は。現在及び将来のツケを若い市民に極力残さないでほしい。

**答弁** 県の地域医療介護総合確保基金、病院事業債、過疎事業債を予定しています。また、返済については、基本的に償還に対して財政が逼迫するということはないと考えているところです。

**水田の活用 (田んぼダム)**  
 ○田んぼダム(排水口への堰板の設置等による流出抑制)によって下流域の温水被害リスクを低減。

田んぼダム 堰板の例

堰板

一時的に田んぼに貯留

田面



病院建設予定地



小川 三郎

## ゴミのない きれいなまちに

**小川** 市民の方が多久市リサイクルセンターとクリーンヒル天山へごみの搬入をされる際、トラックなどからごみの落下が見られるが、その対策は。

**答弁** ごみの持ち込みの際には、飛散防止をするよう指導、啓発を行っています。不法投棄に関するモラル向上も含め、引き続き広報活動を行っています。

**小川** 道路の路肩などに捨てられている使用済マスクやティッシュについて、新型コロナウイルス感染症対策の観点からどのような対策を行っているのか。また、コロナ感染者自宅療養中の方のごみの排出について対策は。

**答弁** 新型コロナウイルスが付着しているおそれもある使用済マスクやティッシュの排出に関しては、環境省が廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを示して

います。

排出時の具体的な感染予防対策としては、廃棄物に直接触れないこと、ごみ袋は廃棄物がいつぱいになる前にしっかりと縛って封をして排出すること及び廃棄物を捨てた後は石けん等を使って手を洗うことが重要です。市民の皆様が出されたごみを扱う市の職員、また、廃棄物処理業者も感染症対策は行っていますが、皆様の御協力によって感染症対策の効果も上がってくるものと思います。

**小川** ごみの無い、きれいなまちになるよう取り組んでください。



クリーンヒル天山・多久市リサイクルセンター

## 【その他の質問】

### ▼通学時安全対策について



樺島 永二郎

## GIGAスクール構想の現状

**樺島** 教師間でのICTへの理解、活用度の差をどのように解消していくのか。

**答弁** 情報教育担当者や推進リーダー、ICT支援員などが複数いるので利用・操作方法を尋ねやすい環境があります。また、今後も実践や研究を通して、教職員のスキルアップを図っていきたくと考えています。

**樺島** タブレット端末破損の状況により、保護者負担となることもあると思うがその対応は。

**答弁** 貸与する時に、明らかに故意による破損行為があった場合、保護者負担となることを確認し、書類を頂いています。

**樺島** 学級閉鎖等の場合、オンラインの対応状況は。

**答弁** 具体的活用例として、1時間目に健康観察を含めた朝の会を

実施、午前中に2時間の学習、午後にも2時間の学習を行い、学びを止めない取組を進めています。

**樺島** タブレット端末の活用として、不登校の児童生徒や、学校に来ることができても教室に入れない児童生徒、そのような子どもたちの学びを止めないためにも、今後ともオンライン授業やオンライン配信等を活用して教育を進めてください。





香月 正則

## GIGAスクール・まちづくり

**香月** GIGAスクール構想の導入後の進捗状況と問題や課題について。

**答弁** 一部、デジタル教科書の運用やAIドリルを導入し、各教科の基礎的、基本的な内容の定着に繋がられるように、どこからでも通信可能な状況にしています。また、日々の授業のみならず、学級閉鎖や個々の理由により欠席した際にも、オンラインで授業を受けられる体制を整備することもできています。課題として、端末を有効に使える学習場面での教科等や指導者による指導方法が異なることで、付けさせたい力に違いが生じないようにつくることが重要と考えています。

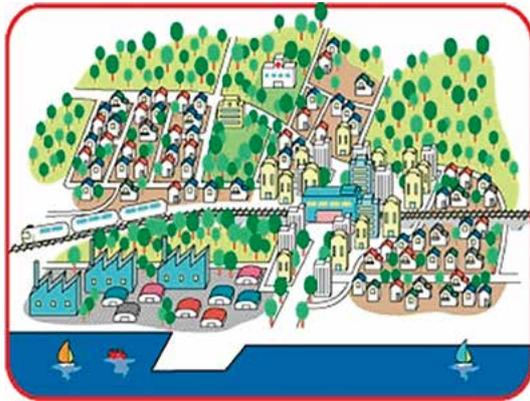
**香月** 令和2年度目標の都市計画マスタープランの評価は。

**答弁** 整備方針別に、交通施設整備、公園緑地整備、拠点整備等について

では、概ね取組ができています。中には景観形成の方針や魅力ある地域づくりの方針など、十分な取組ができていない分野もあります。

**香月** まちづくり協議会をはじめ、各種団体に対し市としてどのように関わっていくのか。

**答弁** まちづくり協議会におきましては、市のパートナーとして推進する組織と認識し協働を進め、また各種団体の御意見や御要望等を聞き取り、活動される内容に様々な場面において支援していきたいと考えています。



【その他の質問】  
▼マイナンバーカードについて



平間 智治

## 自治体のデジタルトランスフォーメーションの推進

**平間** 自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について、行政手続きのオンライン化の現状と今後の取り組みは。

**答弁** 住民の方がマイナンバーカードを用いてマイナポータルからオンライン申請を行うことが進められている手続きについては、児童手当の現況届出、妊娠届出等の子育て関係が15手続、要介護・要支援認定の申請関係が11手続、罹災証明書の発行が1手続、自動車税の住所変更届などの自動車保有関係で4手続、合わせて31手続があります。このうち自動車保有関係については、県の手続きになりますので、市の対象手続としては27手続になります。

これらの手続きは、本市では現在、電子申請はできませんが、一部、パソコンやタブレット、スマートフォンなどから申請書の入力、ダウンロード等が利用できます。

今年度から国において、ぴったりサービス(マイナポータルからの申請)利用の際の標準様式、申請フォームのひな形が順次整備を進められておりますので、オンライン申請の導入にあたっては、今後、実施に向けてさらに研究を進めていきます。

また、住民票や印鑑証明書等をスマートフォンで申請して、手数料、郵送料をクレジットカードで決済し、自宅で受け取れるシステムを令和4年度から実施しますので、利用状況を見ながら、今後拡充についても検討していきます。



# マイナポータル



ぴったりサービス



# 多久の歴史

## 前多久家の滅亡

### 鎌倉幕府滅亡と南北朝

蒙古の襲来を防ぐために鎌倉幕府は膨大な資金を使ったうえ、家人への論功行賞の下手際から信用を失い★①内訌(内輪揉め)が絶えず幕府の屋台骨が揺らぎ始めていました。

後醍醐天皇が位につかれると、幕府を倒し朝廷の政治に帰そうと★②「正中の変(1324年)」「元弘の変(1331年)」を計画しますが失敗、この事件を切っ掛けに幕府の弱体化を露呈させ内部抗争を誘発し「楠木正成」「新田義貞」「足利尊氏」等が天皇に味方することで元弘3年(1333年)源頼朝が鎌倉幕府を開いてから141年目に滅亡しました。

その後、天皇親政の建武の新政権を行います。足利高氏の野心から再び国が乱れ、★③南朝と北朝に分かれ50余年に渡り争いました。



▲後醍醐天皇

★① 正中・元弘の変… 後醍醐天皇が中心となった討幕計画

正中の変…………… 反幕の武士の協力での計画・密告により失敗

元弘の変…………… 寺社の武力を頼っての計画・密告により失敗

★② 南北朝時代…………… 鎌倉時代と室町時代の間にあたるが広義的に室町時代にあたる南朝(後醍醐天皇)VS北朝(光明天皇・足利尊氏)

### 南北朝時代(室町時代)

南北朝の頃、九州では南朝(天皇方)と北朝(足利方)に分かれました。南朝側には菊池・阿蘇・肝附・伊藤家などで、北朝側には少弐・大友・島津家などが味方し争いました。

建武3年(1336年)には、北朝方の菊池家・阿蘇家はそれぞれに兵をおこし、北朝方には少弐家・大友家が迎え撃った、菊池・阿蘇の軍は太宰府を陥したが、多々良浜の戦で大敗し菊池家は筑後へ退却、阿蘇家は天山を超えて肥後へ帰ろうとしたが小城の千葉家に遮られ晴田において敵味方入り乱れる山岳戦をおこないほぼ壊滅しました。

この時、多久宗晴は少弐家に従い戦功を称された「建武三年属將軍方従少弐頼尚於所々戦功」

### 前多久家の滅亡

戦国時代末期、肥前の国において龍造寺隆信の勢力が強大するのをみた大友義鎮は、少弐一族の政興をもって少弐氏を再興させ、これに有馬氏、大村氏、松浦党諸氏に働きかけて対抗した。西方から佐賀攻めを行うには、多久が重要な位置にあり、多久宗利にも加担を呼びかけ永禄五年、佐賀攻めが開始され、龍造寺隆信は杵島において有馬勢の進出を阻止し、松浦党の結束を崩すなどして防戦につとめた。

さらに多久をめぐる攻防が行われ、多久宗利は丹坂口に出陣したところ、宗利の留守を衝いた龍造寺軍の攻撃によって、宗利は**多久梶峰城**に帰ることができなくなり、須古の平井氏を頼って落ち、鎌倉以来の本拠である多久を失いました。宗直に始まり342年続いた前多久氏は、天文13年(1544年) 邑主として滅亡しました。

元亀元年(1570)、龍造寺隆信の弟長信が梶峰城に入城し、多久を支配するようになった。これを後多久氏と呼び区別しています。



西溪公園から望む梶峰山(梶峰城)▲

UDFONT

易やすぐて読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

VEGETABLE  
OIL INK

環境に優しい植物油  
インキを使用しています。

議会広報委員会	
委員長	榊島 永二郎
副委員長	鷺崎 義彦
委員	田淵 厚
	小川 香月
	三郎 正則
	平岡 智治

